

./		作成年月日：令和 5 年 4 月 1 日					
総合工科高等学校 令和5年度 1学年 年間授業計画							
教科 社会	科目	地理総合	単位数 2単位	対象学年組	第1学年1組～5組		
組教科担当	1組 内野	2組 内野	3組 永田	4組 内野	5組 内野		
使用教科書	高等学校 新地理総合 (帝国書院)						
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。						
【知識及び技能】	(1) 現代世界の地域的特色や日本及び世界の歴史の展開について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。						
【思考力、判断力、表現力等】	(2) 地理や歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。						
【学びに向かう力、人間性等】	(3) 地理や歴史に関する諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養う。						
科目の目標							
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】				
地理に関する諸事象に関して、世界の多様性、地域や地球規模の課題への取り組みを理解し、諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。		地理に関する諸事象に関して、主体的に探究しようとする態度を養うとともに、地理に対する興味・関心を高める。				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1 学 期	A 結びつきを深める現代世界 【知】日本の位置と領域, 国内や国家間の結びつきなどについて理解する。 【思】世界的視野から見た日本の位置, 国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し, 表現する。 【学】現代世界の地域構成について, 課題を主体的に追究, 解決しようとする。	●指導事項 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	・日本の位置と領域, 国内や国家間の結びつきについて理解している。 ・世界的視野から見た日本の位置, 国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し, 表現している。 ・現代世界の地域構成について, 課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	○		○	10
	中間考査						
	B 世界の気候と人々の生活 【知】世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて理解する。 【思】世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとする態度を養う。	●指導事項 ・気温・降水と人々の生活 ・大気大循環と人々の生活 ・世界の植生と気候区分 ・熱帯と人々の生活 ・乾燥帯と人々の生活 ・温帯と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯と人々の生活	・世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて理解している。 ・世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・世界の気候と、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとしている。	○		○	16
1 学期期末考査							
2 学 期	C 世界の言語・宗教と人々の生活 【知】言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて理解する。 【思】言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わり	●指導事項 ・世界の言語と人々の生活文化 ・世界の宗教と人々の生活 ・イスラームを中心とした生活文化 ・乾燥地帯でクラスムスリムの生活 ・変化するムスリムの生活 ・インドの歩みとヒンドゥー教 ・宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活	・世界の言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて理解している。 ・世界の言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・世界の言語・宗教の成り立ちと、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとしている。	○		○	12

	<p>について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学】言語・宗教と、人々の生活文化への影響や関わりについて主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・変化するヒンドゥー教の生活</p>		1		○	
	中間考査						
	<p>D 地球的課題と国際協力</p> <p>【知】地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>【思】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学】地球的課題と国際協力について、主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>●指導事項</p> <p>・地球環境問題</p> <p>・資源・エネルギー問題</p> <p>・人口問題</p> <p>・食料問題</p>	<p>・地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。</p> <p>・地球的課題と国際協力について、主体的に追究しようとしている。</p>	○		○	16
	期末考査						
3 学期	<p>E 自然環境と防災</p> <p>【知】地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>【思】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学】自然環境と防災について、主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>●指導事項</p> <p>・日本の自然環境</p> <p>・地震・津波と防災</p>	<p>・地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <p>・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・自然環境と防災について、主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○		○	16
	学年末考査						

総合工科高等学校 令和5年度 1学年 年間授業計画

教科 社会	科目	歴史総合	単位数 2単位	対象学年組	第1学年1組～5組
-------	----	------	---------	-------	-----------

組教科担当	1組 内野	2組 内野	3組 門脇	4組 内野	5組 内野
-------	-------	-------	-------	-------	-------

使用教科書	歴史総合 (実教出版)				
-------	-------------	--	--	--	--

教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。				
-------	---	--	--	--	--

【知識及び技能】	(1) 現代世界の地域的特色や日本及び世界の歴史の展開について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
----------	---

【思考力、判断力、表現力等】	(2) 地理や歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、議論したりする力を養う。
----------------	--

【学びに向かう力、人間性等】	(3) 地理や歴史に関する諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養う。
----------------	---

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
----------	----------------	----------------

現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する情報を適切に調べる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追及し解決しようとする態度を養う。
--	---	---

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時間
-------------	---------	------	---	---	---	------

1 学 期	A 欧米の市民革命と『西洋の衝撃』 【知】 18世紀のヨーロッパやアメリカ大陸における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、世界の経済と社会を理解する。 【思】 18世紀のヨーロッパやアメリカ大陸のできごとや影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追求する。	●指導事項 ・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	・18世紀のヨーロッパやアメリカ大陸における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、世界の経済と社会を理解している。 ・18世紀のヨーロッパやアメリカ大陸のできごとや影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追求、解決しようとしている。	○	○	○	10
	中間考査						

1 学 期	B 欧米諸国と日本の国民国家形成 【知】 19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解する。 【思】 19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、主体的に追求する。	●指導事項 ・イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ・明治政府の諸外国 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本国憲法	・19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 ・19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、主体的に追求しようとしている。	○	○	○	12
	1学期期末考査						

2 学 期	C 帝国主義の時代 【知】 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係を理解する。 【思】 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。	●指導事項 ・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動	・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係を理解している。 ・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ・帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、主体的に追求、解決しようとしている。	○	○	○	12
-------------	--	--	---	---	---	---	----

	<p>【学】帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、主体的に追求する。</p>						
	2 学期中間考査						
	<p>D 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【知】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</p> <p>【思】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学】20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、主体的に追求する。</p>	<p>●指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、主体的に追求、解決しようとしている。 	○	○	○	16
	期末考査						
3 学期	<p>E 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知】第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p> <p>【思】各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学】世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化について、主体的に追求する。</p>	<p>●指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発と終結 ・日本占領と日本国憲法 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 ・各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化について、主体的に追求、解決しようとしている。 	○	○	○	16
	学年末考査						

総合工科高等学校 令和5年度 2学年 年間授業計画

教科 社会	科目 公共	単位数 2単位	対象学年組 第2学年1組～5組
組教科担当	1組 佐々木	2組 佐々木	3組 佐々木
使用教科書	公共 (数研出版)		
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求する活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。		
【知識及び技能】	(1) 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解する。		
【思考力、判断力、表現力等】	(2) 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察しようとする力を培う。		
【学びに向かう力、人間性等】	(3) 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、資料から、倫理的主体として活動するための情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の課題解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時間	
1 学期	A 公共的な空間をつくる私たち 【知】 青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 【思】 自己形成の課題について考察できている。様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 【学】 自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるという自覚した行動をとることができている。	●指導事項 ・大人ってどんな人？ ・お互いを理解し尊重するために ・誰もが生きやすい社会へ	・自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 ・自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。	○		○		10
	中間考査							
	B 公共的な空間における基本原理 【知】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解できている。 【思】 国家の基本原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている 【学】 民主政治が自らの生活とかわかっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	●指導事項 ・民主社会の基本原理 ・日本社会の基本原理	・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本原理との関連を考察することができている。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができている。	○		○		12
1学期期末考査								
2 学期	C ルールをつくり守る私たち 【知】 法や規範の意義や役割が理解できている。	●指導事項 ・法と契約 ・司法参加の意義 ・政治参加と民主政治の課題	・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げることができる。公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察	○			12	
					○			

都立総合工科高等学校 全日制課程 令和5年度 年間授業計画

令和4年4月23日

学年	3	教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	区分	必履修
教科書	東京書籍『現代社会』								
副教材	東京書籍『現代社会 ワークノート』								
担当教諭 氏名	佐々木 優理								
教科・科目の目標・ねらい									
<p>1. 時事問題や日常生活の事象を授業に取り入れ、現代の社会と人間について興味・関心を持たせる。</p> <p>2. 人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせる。</p> <p>3. 現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断させ、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。</p>									
評価のねらい・観点									
<p>以下の状況により総合的に評価する。</p> <p>・定期考査 ・課題提出 ・出席及び授業への取り組み姿勢</p>									
	予定時数	指導内容							
1学期	26	<p>・私たちの生きる社会 地球環境問題 資源・エネルギー問題 科学技術の発達と生命 情報化の進展と生活 現代社会と青年の在り方 よりよく生きるための考え日本国憲法と民主政治</p>							
2学期	30	<p>・憲法の基本原理 日本国憲法と民主政治 日本の政治機構 現代政治の特質と課題・青年期と自己形成の課題</p>							
3学期	14	<p>・現代社会と法 法の働きについて ・共に生きる社会をめざして 共生社会について</p>							
学年計	70								
その他									